

テーマ	工業簿記と原価計算の基礎				
学籍番号					氏 名

1. 以下の（ ）にあてはまる原価計算の種類の名称を記入しなさい。

（ 実際原価計算 ） …製品の製造に実際にかかった原価を集計することにより、製品の原価を求める方法

（ 標準原価計算 ） …初めにその製品を一つ作るのにいくらかかるかを見積もっておき、その見積もった単価（標準原価）で製品の原価を計算する方法

（ 直接原価計算 ） …原価を変動費と固定費に分解し、売上高から先ず変動費を控除して貢献利益を計算し、さらに貢献利益から固定費を控除して営業利益を計算する方法

（ 全部原価計算 ） …製品の製造に要した全ての原価要素で製造原価を計算する方法

2. 以下の（ ）にあてはまる形態別分類における原価の種類の名称を記入しなさい。

（ 労務費 ） …労働用役を消費した（人が加工作業をした）ことで発生する原価。賃金、給料、賞与手当てなど

（ 経費 ） …材料および労働用役以外の原価財を消費したことで発生する原価。工場建物や機械の減価償却費、電力料、ガス代など

（ 材料費 ） …物品を材料として消費したことで発生する原価。素材費、部品費など

3. 以下の（ ）にあてはまる操業度との関連による分類における原価の種類の名称を記入しなさい。

（ 固定費 ） …事業を行っていく上での、売上高や販売個数の増減に関係なく、一定に発生する費用

（ 準変動費 ） …操業がゼロになっても一定額が発生するが、その後、操業度の増加に応じて比例的に増加する費用

（ 変動費 ） …売上高や販売個数の増減に応じて、増減する費用

（ 準固定費 ） …売上高や生産高など、企業の主たる事業活動によって一定比率では変動しないが、ある水準を越えると変動しうる費用